

2025年3月22日 ～ビーコン・雪上訓練 in 乗鞍高原～

メンバー:L 谷内, 村中, 岩田, 森田, 小嶋(記録)

スノーリゾート乗鞍のスキー場のリフトを使い, スキー場の最上部から 50mほど歩いたところで雪上訓練を行いました。

訓練は 1.ロープワーク訓練 2.ビーコンを用いた雪崩遭難者搜索訓練 3.弱層チェック 4.滑落停止訓練の 4 つ実施しました。

1. ロープワーク訓練

リフトが動き出すまでに時間があったので, 30 分ほどロープワーク訓練を行いました。

ロープワーク訓練ではザイルで複数人が体を結びつけるアンザイレンのまま同時に動くときに用いるコンティニユアスのロープワークを教えてくださいました。

ただ, 体にザイルを巻き付けるだけだとテンションがかかった時に, 締め上げられてしまうため, ハーネスを上手に利用することがコツでした。忘れないように復習が必要です。

2. ビーコンを用いた雪崩遭難者搜索訓練

ここからは, スキー場の山頂付近で訓練を実施します。

ビーコンが反応する 70mより遠く離れたところにビーコンとザッグを埋めて, 5 分以内に掘り起こすことを目標にしました。

新雪で壺足の中, 要救助者までたどり着くだけでも時間がかかります。そこで, ビーコンで場所を確認したのち, ゾンデを差して場所の特定を行いスコップで掘り起こします。



ビーコンで 10mの表示ができるまでできるだけ早く進む



10mまで近づいたら
ビーコンを雪面に近づけて
丁寧に搜索する



ゾンデで場所を特定



掘り起こす

3. 弱層チェック

雪を直径 30cm 程度の円柱状に掘り起こし、断面を観察します。この時に指先で断面をつつくと、硬い層と柔らかい層があることが確認できました。斜面に向かって雪を引いたときに雪の強度が確認でき雪崩が起きやすいか、過去の積雪の様子はどうなのかが確認できます。



弱層テスト



掘り起こすのも一苦労

4. 滑落停止訓練

滑落したときにしっかりと雪面にピッケルを差し、できるだけ早い段階で滑落した状態から止まることがポイントです。



滑落してます



うつ伏せになってしっかりと止まる

訓練は 9:00 から 13:30 ごろまで行い, 14:30 には駐車場に戻りました。
雪上でしか体験できないことがあり, 学びが沢山ありました。